

## 発言通告書

発言者氏名	小幡沙央里
発言の会議	令和6年 9月17日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、教育長

### 【件名及び発言の要旨】

#### Ⅰ フルインクルーシブ教育の実現に向けて

##### (1) 特別支援学級の現状について

- ア 特別支援学級の在籍児童・生徒数が増加を続けている現状について
- イ 保護者が学校行事などへの協力を求められていることについて
- ウ 介助員の増員やボランティアの活用について

##### (2) 特別支援学級の改善について

- ア 巡回相談を定期的に全ての学校に対し行うことについて
- イ 放課後等デイサービスなどの福祉事業所と学校との連携について
- ウ 適切なアセスメントと計画策定をサポートするシステムの導入について

##### (3) フルインクルーシブ教育の実現について

- ア 本市もフルインクルーシブ教育の実現へ向けて、特別支援学

級の在り方を見直すことについて

イ 特別支援学級の子どもも含めて1学級当たりの人数を35人以下にすることについて

ウ 学級名簿の在り方について

## 2 住宅政策と福祉政策の連携について

(1) 住宅政策と福祉政策の一層の連携について

ア 住宅政策と福祉政策の連携を深めることについて

イ 住生活基本計画について

(2) 市営住宅における福祉施策の推進について

ア 福祉施策としての側面について

イ 市営住宅におけるコミュニティー支援について

## 3 手話言語の保障と手話の普及に向けて

(1) 手話通訳者の確保について

(2) 手話通訳者の派遣料の見直しについて